

# WAIC2025徹底分析：中国AIの最新トレンドと独自性に関するレポート

作成日: 2025年10月22日 作成者: Manus AI

## はじめに

2025年7月26日から29日にかけて上海で開催された「世界人工知能大会（WAIC2025）」は、過去最大規模となり、中国のAI（人工知能）技術の現在地と未来を俯瞰する上で極めて重要なイベントとなった。本レポートは、WAIC2025で示された中国AIの最新トレンド、技術的進展、政策動向、そしてその独自性を多角的に分析し、中国のAI戦略の全体像を明らかにすることを目的とする。

## 第1章：WAIC2025の全体像

WAIC2025は、その規模と内容の両面で、中国がAI分野において国家的なプレゼンスをいかに高めているかを示す象徴的なイベントであった。テーマには「智能時代 同球共済（AI時代のグローバルな団結）」が掲げられ、国際協調を強く意識した姿勢が示された。

| 項目      | 詳細                                         |
|---------|--------------------------------------------|
| 開催期間    | 2025年7月26日～29日                             |
| 開催場所    | 上海世博中心、上海世博展覽館                             |
| テーマ     | 智能時代 同球共済（Global Solidarity in the AI Era） |
| 展示面積    | 70,000平方メートル超（過去最大）                        |
| 出展企業数   | 800社以上（うち50%以上が上海市外・海外企業）                  |
| 来場者数    | 約35万人                                      |
| 展示製品・技術 | 3,000点以上                                   |
| 大型契約    | 32件、総投資額450億元（約9,450億円）超                   |

展示エリアは「AIコア技術」「AI産業応用」「スマートデバイス」「AIエコシステム連携」の4つに大別され、基礎研究から社会実装、スタートアップ育成まで、AI産業のバリューチェーン全体を網羅する構成となっていた。特に、ファーウェイ、アリババ、テンセント、バイドゥといった巨大テック企業に加え、多数のスタートアップが参加し、エコシステムの厚みを示した。

## 第2章：中国AIの最新技術トレンド

WAIC2025では、いくつかの重要な技術分野で顕著な進展が見られた。特に「生成AIと大規模モデル」「エンボディドAIとロボティクス」「自動運転」「ヘルスケア」の4分野が大きな注目を集めた。

### 2.1 生成AIと大規模モデル：応用段階への移行

中国はすでに1,500種類以上のLLMをリリースしており、数では世界をリードしている。WAIC2025では、単なるモデルの性能競争（パラメータ数など）から、**いかにして実用的なアプリケーションに落とし込み、産業課題を解決するか**という「応用能力」へと焦点が明確にシフトしていた。オープンソース化と商業化を両立させる動きも活発化しており、Baiduの「ERNIE 4.5」オープンソース化や価格破壊戦略はその象徴である。

### 2.2 エンボディドAIとロボティクス：ソフトウェア主導の進化

WAIC2025で最も熱気を帯びていたのが、人型ロボットを中心とするエンボディドAI分野であった。2024年の展示ではまだ不安定な動作が目立ったが、2025年には「**動ける**」から「**仕事ができる・協働できる**」段階へと大きく進化。この進化の鍵は、ハードウェアの改良以上に、**ソフトウェア面の進化**にある。Tencentが発表したオープンプラットフォーム「Tairos」や、各社が開発するVLA（Vision Language Action）モデル、世界モデルは、ロボットが物理世界を理解し、自律的に行動するための「知能」を提供するものであり、中国がこの分野で急速にキャッチアップしていることを示した。

### 2.3 自動運転とスマートモビリティ

Teslaをはじめ、WeRideやECARXといった中国企業が最新技術を展示。WAIC期間中には上海市内で自動運転タクシーの体験サービスが提供されるなど、実用化が着実に進んでいる。総額450億元を超える大型契約案件の中でも、自動運転分野は主要な柱の一つであり、スマートシティ構想の中核技術として、今後も大規模な投資が続くと予想される。

### 2.4 ヘルスケアとバイオテクノロジー：「約束から実践へ」

AIヘルスケアは、WAIC2025で「約束から実践へ（From Promise to Practice）」の移行を明確に示した分野である。Ant GroupのAI健康相談アプリ「AQ」はすでに1億人以上のユーザーを抱え、AI診断システムやAI創薬プラットフォームが数千の医療機関で実際に稼働している。高齢化社会という世界共通の課題に対し、AIを活用した診断支援、創薬、個別化医療、高齢者ケアといったソリューションは、中国国内だけでなく、グローバル市場においても大きなビジネスチャンスとなりうる。

## 第3章：政策・戦略・エコシステム

### 3.1 政府主導のグローバル・ガバナンス戦略

WAIC2025の開幕式で李強首相が提唱した「世界人工知能協力組織（World AI Cooperation Organization）」の設立構想は、中国がAI分野における国際的なルール形成を主導しようとする強い意志の表れである。これは、米国の「アメリカ・ファースト」的なアプローチとは対照的に、国際協調を前面に押し出すことで、グローバル・サウスを含む幅広い国々の支持を得ようとする戦略と分析できる。

### 3.2 AIセーフティと国際協調

中国政府と学界が「AIセーフティ」を重要課題として位置づけ、積極的に議論を主導している点も注目に値する。ジェフリー・ヒントン氏をはじめとする世界のトップ研究者を招聘し、安全性に関する議論を深める姿勢は、技術覇権だけでなく、倫理やガバナンスの面でもリーダーシップを発揮しようとする中国の思惑がうかがえる。

### 3.3 活発なスタートアップエコシステムと投資

「Future Tech」エリアには200社以上のスタートアップが集結し、その約70%が設立3年未満という非常にダイナミックなエコシステムが形成されている。政府の強力な後押しと、BAT（Baidu, Alibaba, Tencent）などの巨大企業が提供するプラットフォーム、そして活発なベンチャーキャピタル投資が一体となり、次世代のイノベーションを育む土壌が醸成されている。

## 第4章：WAIC2024との比較分析

WAIC2025は、前年のWAIC2024から著しい進化を遂げた。

| 比較項目      | WAIC2024                            | WAIC2025                          |
|-----------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| テーマ       | 協議・ガバナンス重視                          | グローバルな団結・協調重視                     |
| 技術トレンド    | ・ LLMの性能（パラメータ数）競争<br>・ 人型ロボットのデモ段階 | ・ LLMの産業応用・実用化<br>・ ロボットの自律性・協働能力 |
| 焦点        | モデル自体の性能                            | モデルを活用した課題解決能力                    |
| イベントの位置付け | 中国最大級のAI展示会                         | 中国の国家AI戦略を代表する国際プラット              |

この1年で、中国AIは基礎研究や性能競争のフェーズから、**いかに社会に実装し、産業を変革するか**というフェーズへと明確に移行した。これは、2025年初頭にオープンソースAI「DeepSeek-R1」が登場し、高性能なAIモデルがコモディティ化した「DeepSeekの衝撃」が大きな転換点になったと考えられる。

# 結論：WAIC2025が示す中国AIの独自性と今後の展望

WAIC2025を通じて明らかになった中国AIのトレンドと特徴は、以下の3点に集約される。

1. **国家戦略と一体化したトップダウンの推進力**: 政府が明確なビジョンを示し、巨額の投資と政策支援を行うことで、産業全体の方向性を定め、開発を加速させている。
2. **「応用」への徹底的なこだわり**: 基礎技術の研究開発と並行して、それをいかに早く、広く社会実装し、実用的な価値を生み出すかという点に極めて強いベクトルが働いている。特にヘルスケアや製造業といったリアル産業との融合が急速に進んでいる。
3. **グローバル・ガバナンスへの野心**: 技術覇権だけでなく、AIに関する国際的なルールや倫理基準の形成においても主導権を握ろうとする強い意志を示している。

一方で、米国の半導体輸出規制という制約に対し、ファーウェイの新型AIチップ「910C」や「モデル・チップ・エコシステム・イノベーション・アライアンス」の結成など、国内サプライチェーンを強化し、技術的自立を目指す動きも顕著である。

今後の展望として、中国のAIは、巨大な国内市場と豊富なデータ、そして強力な政府の支援を背景に、産業応用分野で世界をリードする可能性が高い。特に、エンボディドAIやAIヘルスケアといった、ハードウェアとソフトウェアの融合が求められる領域での競争力は、今後さらに高まると予想される。WAIC2025は、中国が単なる「AI大国」から、世界のAIアジェンダを動かす「AI強国」へと変貌を遂げつつあることを力強く印象付けたイベントであった。

## 参考文献

- 日経クロステック. (2025). 「WAIC2025」から見る中国AIの全貌.  
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03371/101500001/>
- Alizila. (2025). Alibaba Shines at WAIC 2025 with the Latest AI Innovations.  
<https://www.alizila.com/alibaba-shines-at-waic-2025-with-the-latest-ai-innovations/>
- Innovation Discovery Center. (2025). From Promise to Practice: How WAIC 2025 Revealed AI Healthcare's Transition from Experimental to Essential.  
<https://www.innovationdiscoverycenter.com/single-post/from-promise-to-practice-how-waic-2025-revealed-ai-healthcare-s-transition-from-experimental-to-ess>
- JETRO. (2025). 2025世界AI大会、世界人工知能協力組織の設立を提唱.  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/08/438061d91857c62c.html>
- WIRED.jp. (2025). 中国が「AIセーフティ」について世界に示したリーダーシップ.  
<https://wired.jp/article/sz-china-artificial-intelligence-policy-laws-race/>